

（大阪府泉佐野市）
子どもの未来応援プロジェクト
～全国のこども食堂を支援～

泉佐野市成長戦略室おもてなし課

泉佐野市の紹介

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、背後に一部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。商・工・農・漁業がそれぞれバランスよく栄えてきましたが、関西国際空港の開港などに伴う人口の増加とともに、商業・サービス業が盛んとなっています。



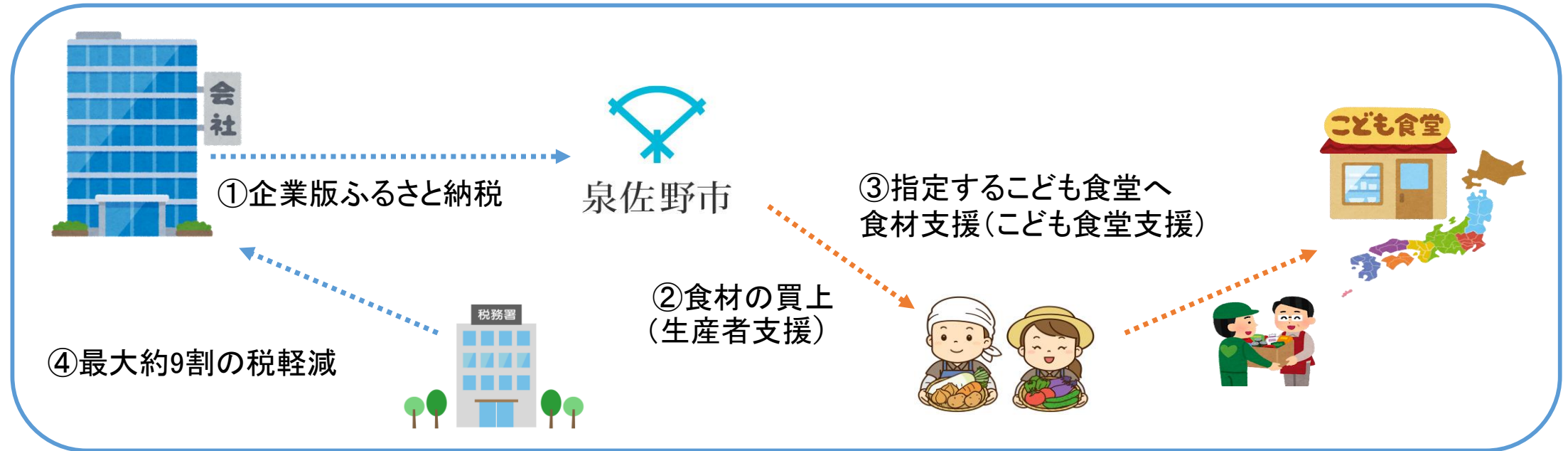
■ 面積・人口等

面	積	56.51平方キロメートル
人	口	100,131人（令和2年国勢調査）
世	帯	数 43,864世帯
特	産	品 泉州タオル（全国シェア42%）、ワタリガニ、玉ねぎ、水なす、キャベツ、地酒等
主	要	産 業 金属製品・一般機械・輸送機械製造業、観光業、繊維・衣服製造業、農林水産業

事業の背景

- 多くのこども食堂は、年齢などの参加条件を付けずに運営されており、多世代交流の拠点として、孤食問題の解消や地域コミュニティ形成を促進する場所として重要な役割を果たしています。一方で、近年の物価高騰等により、こども食堂は運営費の確保といった課題に直面しています。
- 日本は経済大国でありながら、子どもの約9人にひとりが相対的貧困状態にあるといわれ、ひとり親世帯の貧困率は約45%で、OECD加盟国の中で最低水準です。このような状況下で、無料または低額で温かい食事を提供し、子どもが安心できる居場所となっている「こども食堂」の重要性は高まっています。





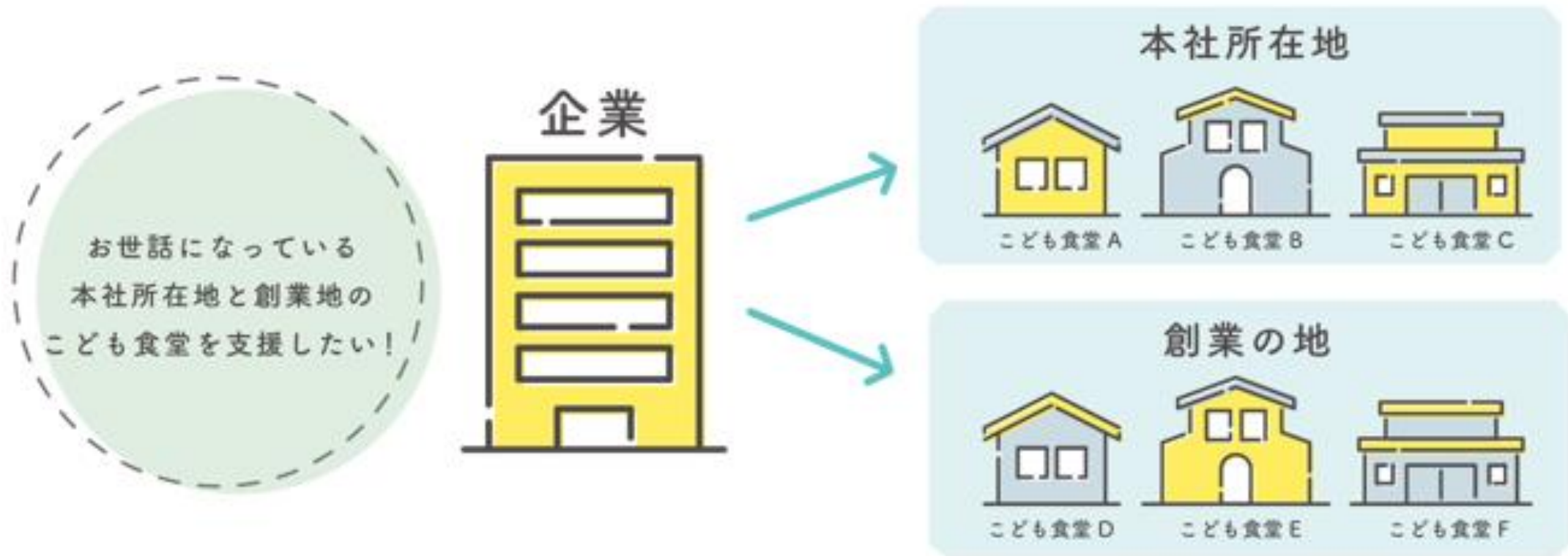
実施スキーム

- ① 企業版ふるさと納税を通じて企業様より寄附を頂戴する。
- ② 市は、こども食堂のニーズを踏まえ、こども食堂に届けるための食材を購入。
- ③ 企業様が支援されたい地域(本社所在地等)のこども食堂へ食材を届ける。
- ④ 企業様の寄附額の最大約9割が税軽減の対象に。

(例) 10万円の寄附の場合、企業様の実質負担額は最小約1万円

事業のポイント

- 本事業の最大の特徴は、寄附企業の皆さまが支援したい地域を自由に選択できる点です。例えば、普段お世話になっている本社所在地や創業地にあるこども食堂を支援対象として指定することが可能です。
- これまで寄附いただいた企業のうち、8割以上の企業の皆さまが地域指定の仕組みを活用いただいています。



支援食材



支援食材は、こども食堂からのニーズが高い、米と季節の野菜です。また、新鮮な食材を提供するため、こども食堂の開催日前日など、こども食堂のご要望に応じた発送を行っています。

こども食堂と寄附企業のコミュニティ形成



企業からの支援であることを明確にするため、寄附企業名を記載したチラシを食材に同梱しています。これにより、こども食堂から寄附企業に手紙が届くなど、企業とこども食堂のコミュニティが活性化しています。

泉佐野市では、企業版ふるさと納税を活用した社会課題の解決や地方創生の推進をめざし、子どもの貧困対策や教育、福祉支援、環境対策など様々な事業に取り組んでいます。これらの事業は、泉佐野市だけではなく、日本社会全体の社会課題の解決に寄与するものと考えております。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



泉佐野市

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp